

平成 29 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	神綱ケアライフ株式会社			ホーム名	エレガーノ摩耶			ID	2907
評価機関	特定非営利活動法人京都府認知症グループホーム協議会					評価日	1月23日		
スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価	
1.1.1	A	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A	
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A	
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A	
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A	
1.2.1	A	A	2.3.7	A	A	6.2.3	A	A	
1.2.2	A	A	2.3.8	A	A	6.2.4	A	A	
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A	
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A	
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A	
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A	
1.4.1	A	A	2.4.2	A	A	6.2.9	A	A	
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	A	A	
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	A	A	
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	A	A	
1.4.5	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A	
1.4.6	A	A	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A	
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A	
1.4.8	A	A	3.1.3	A	A	7.3.1	A	A	
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A	
1.5.2	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.3	A	A	
1.5.3	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A	
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A	
2.1.2	A	A	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A	
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A	
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	A	A	
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A	
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A	
2.2.5	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A	
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A	
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A	
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A	
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A	
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A	
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A	
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A	
2.3.2	A	A	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A	

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
ｽｰﾄﾞNo	所 見
1 - 4 - 1	従来から実施されている資格等級制度に加え、今年度新たに「ラダー制度」を導入している。運用マニュアルを基にスタッフ一人ひとりが目標達成に向け、身につけるべきスキルを明確化し、自己評価を通じて自身を理解し次の目標へとつなげていくことにより成長を促す取り組みをしている。具体的には年度初めに「自己管理シート」にて目標と取り組み、研修予定、今後の希望を決め、上期と下期の2回上司との面談により1年間の成長をみている。この制度を運用することにより、レベルに応じた役割や役職を明確化し、スタッフが意欲を持てる職場環境の整備と質の高いスタッフの育成を目指している。
6 - 1 - 1	「ケアマネジメントマニュアル」及び「ケアプラン作成マニュアル」を整備している。特にケアプランの書き方については具体的な内容となっており、PDCAサイクルの流れに至るまで具体的に説明されている。また、個別の計画書は受け持ちの担当者が作成し介護支援専門員が確認しているが、研修にて当該マニュアルを周知することにより精度の高い個別のケアプランを実現していることが確認できた。
6 - 1 - 2	入職時に冊子「接遇のポイント」を配布した上で、新人においてはビジネスマナー研修、さらに全スタッフには毎年「接遇マナー向上研修」を実施している。また週1回接遇カンファレンスを行うとともに、「身だしなみチェックリスト」にて自己チェックと接遇委員によるチェックを実施している。各フロアにおいても接遇に特化した標語を2ヶ月に1回のサイクルで変更し、毎朝の朝礼で唱和するなどサービスの質の向上に向けた取り組みを徹底している。
6 - 3 - 2	新人職員は入職時、さらに全スタッフ対応に「認知症ケア研修」を実施している。また認知症専門医と連携し、毎週1回の訪問により心身状態に合わせた処方や対応の仕方について事例を通して指導を受けている。外部の研修として認知症介護実践者研修、認知症介護リーダー研修の受講をすすめ、現在「認知症ケア専門士」11名、「タクティルケアインストラクター」9名とスタッフの専門性の向上に努めている。
7 - 5 - 6	大阪市立大学との3年間の共同研究により「ケアド・コモン」の実践として創設された認知症ケア専門フロア「花ステーション」は、ユニット連携ケアによるユニット間の交流の場を作っている。朝夕はユニット別々でお過ごしのご入居者同士が適度な距離感を持ちながらも、顔なじみの関係を築き、スタッフも情報を共有するなど連携の場となっている。この空間の中央にシンボルツリーを設置し、飾り付けをすることで普段外出来ない方にも四季折々の変化を提供している。さらに、ツリーを囲むように和室「なごみ」では家庭的空間を演出し、「タクティールスペース」では認知症の方が穏やかに過ごせる憩いの場所となっている。また、各居室の入り口にはメモリーボックスを設置し、お気に入りの小物やお思い出の品物、デイサービスでの作品などを飾るなど認知症の方が個性を出しながら、安心して共に暮らすことの出来る取り組みをしている。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
ｽｰﾄﾞNo	所 見
6 - 2 - 9	身体拘束廃止マニュアルを基に、毎月身体拘束廃止委員会の会議で入居者の認知症等を含む心身状況を把握した上で、安全性に問題はないか福祉用具の使用を含め検討している。また、身体拘束に関する具体的な報告書を整備し、毎月館長及びセンター長に報告することで廃止に向けた取り組みを強化している。現在、緊急時を含め身体拘束ゼロとなっている。今後もさらに委員会での状況把握と対応策を重視し、個別の計画書にてケアの統一化を図ることにより、現場のスタッフと共通認識を持って身体拘束廃止に向けた取り組みと実績を積まれることを期待します。

留意事項：

【評価シートの使用方法】

○「平成 29 年度サービス第三者評価結果」表への入力等

〔受審ホーム〕①法人名（法人格は（株）等に略さないでください）、ホーム名、ID（4桁）を大文字で入力してください。

②自己評価結果をスケールごとに大文字で入力してください。

※評価スケールごとに、「A」「B」「C」のいずれかを入力します。スケールによって「非該当」と入力する場合があります。

③本ファイル名を「ID（4桁・大文字）」のみに変更して保存してください。

④評価機関に電子メールで本ファイルを送信し、加えて次の書類を評価機関にご郵送ください。

『入居契約書』『管理規程』『重要事項説明書』『パンフレット』。

⑤スケールごとに自己評価した根拠となる資料名を〈訪問調査時確認資料〉に記載し、現地調査当日に評価者へお渡しください。

※調査当日に確認できない書類がある場合、後日提出をもって評価することはできませんので、ご注意ください。

〔評価機関〕①機関名（法人格は（株）等に略さないでください）、現地調査日を入力してください。

②第三者評価結果をスケールごとに大文字で入力してください（入力方法は上記同様）。

○「評価機関所見」表への入力

〔評価機関〕①評価結果の中から、「優れた取り組みと思われる点」「さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点」について概ね各5項目以内で入力します。

②スケールNo. の入力は、ハイフンを含め大文字とし、1スケールに絞ってください。

○評価実施後の流れ

・評価終了後、評価機関から本協会へ評価ファイルが送信され、それを個別に受審ホームへ送信します。

・ファイルが到着後、受審ホームは〈受審ホームの所見〉を入力し、本協会へ送信いただき終了します。

この際、評価結果について疑義が生じた場合は〈照会事項〉にスケールNo. と照会事項を入力し、本協会に送信してください。評価機関に伝達し、対応を図ります。

※入力はすべてMSゴシック・10ポイント／大文字で入力をお願いします。

評価事業の詳細の流れにつきましては別途「評価事業ガイドライン」をご参照ください。（協会HPで公表）

【関係様式】

○訪問調査時確認資料名

※なぜそのような自己評価をされたのかを、調査者が訪問当日に確認させていただく資料です。
マニュアル等につきましては視認しやすいよう該当箇所に付箋をつけてください。

スケール No.	確認資料名	スケール No.	確認資料名	スケール No.	確認資料名
1.1.1	企業理念・倫理綱領	2.3.3	会議体およびメンバー一覧表	6.1.2	接遇のポイント 他
1.1.2	全社教育研修 他	2.3.4	入居者満足度アンケート	6.1.3	サービス利用の手引き
1.1.3	コンプライアンス委員会規程	2.3.5	管理規程 他	6.2.1	ケアマネジメントマニュアル
1.1.4	中期計画	2.3.6	運営状況説明会資料 他	6.2.2	アセスメント
1.2.1	中期計画編成方針 他	2.3.7	会計別損益計算書	6.2.3	モニタリングシート
1.2.2	取締役会規則 他	2.3.8	運営状況説明会資料	6.2.4	暫定プラン
1.2.3	経理規程 他	2.3.9	入居契約書 他	6.2.5	ケアプラン
1.3.1	イントラネット集	2.3.10	入居契約書 他	6.2.6	ケアプラン
1.3.2	個人情報保護規程 他	2.3.11	賠償責任保険制度加入証	6.2.7	個人情報利用に関わる覚書
1.3.3	文書管理一覧表	2.4.1	誓約書 他	6.2.8	近況報告 他
1.4.1	教育研修計画 他	2.4.2	業務マニュアル 他	6.2.9	予防・防止対策マニュアル 他
1.4.2	自己申告シート	2.4.3	予防・防止対策マニュアル 他	6.3.1	エレガーノ摩耶教育計画 他
1.4.3	人事制度の内容 他	2.4.4	予防・防止対策マニュアル 他	6.3.2	エレガーノ摩耶教育計画 他
1.4.4	目指すべき人材像 他	2.4.5	防災マニュアル	6.3.3	
1.4.5	自己申告シートの運用の件	2.4.6	自衛消防訓練届出書 他	7.1.1	健康管理日誌 他
1.4.6	教育研修計画 他	3.1.1		7.1.2	健康管理日誌 他
1.4.7	就業規則付属規程 他	3.1.2		7.2.1	ケアプラン
1.4.8	入居ご案内 Gr 担当者研修	3.1.3		7.3.1	入浴一覧表 他
1.5.1	入居契約書 他	3.1.4		7.3.2	介護技術マニュアル
1.5.2	成年後見に関する記録	3.1.5		7.3.3	介護技術マニュアル
1.5.3	予防・防止対策マニュアル 他	3.1.6	エクササイズルームのプログラム	7.3.4	介護技術マニュアル
2.1.1	運営状況説明会資料 他	3.1.7		7.4.1	介護技術マニュアル 他
2.1.2	運営状況説明会資料 他	4.1.1	管理規程 他	7.4.2	介護技術マニュアル
2.2.1	販売日報	4.1.2	覚書 (小口現金立替金) 他	7.4.3	業務分担表
2.2.2	ご入居申込みの手引き	4.1.3	運営懇談会議事要旨 他	7.4.4	介護技術マニュアル
2.2.3	入居契約書 他	4.1.4	運営懇談会議事要旨 他	7.4.5	ケアプラン 他
2.2.4	入居契約書 他	4.2.1	新入社員 OR 資料 他	7.5.1	ケアプラン 他
2.2.5	重要事項説明書	4.2.2	イベント企画書 他	7.5.2	館外ツアー企画書等
2.2.6	特定施設重要事項説明書	5.1.1	週間予定献立表 他	7.5.3	リハビリ実施計画書
2.2.7	入居契約書	5.1.2	入居者満足度アンケート 他	7.5.4	ケアプラン
2.2.8	入居契約書	5.2.1	ケアプラン	7.5.5	リハビリ実施計画書
2.2.9	重要事項説明書	5.2.2	食事箋 他	7.5.6	認知症ケアプログラム
2.2.10	入居契約書	5.2.3		7.5.7	デイサービス日誌 他
2.2.11	入居契約書	5.2.4	栄養アセスメント 他	7.6.1	医療協力に関する覚書
2.3.1	重要事項説明書	5.2.5	診療記録 他	7.6.2	カルテ
2.3.2	重要事項説明書	6.1.1	モニタリングシート 他	7.6.3	介護技術マニュアル 他

○受審ホームの所見 (10ポイント・大文字で入力)

貴協会のサービス第三者評価の受審は平成26年度以来4回目となります。サービスの充実、向上を目指して様々な取り組みを行っていますが、それに対して外部から評価していただくことは毎回、サービスを客観的に見ることができ大変有益でした。

今回の評価結果につきましては、非該当項目以外全てA評価を頂き満足しております。ただ、A評価に満足することなく、これらをさらに充実させるため、常にホーム全体で研鑽していく必要があると考えています。

また、アドバイスをいただきました身体拘束廃止に向けた取り組みにつきましても、さら努力し実績を積み上げてまいります。

○照会事項

スケルNo	自己 評価結 果	機関 評価結 果	受審ホーム照会事項	評価機関回答	有老協コメント	最終 評価